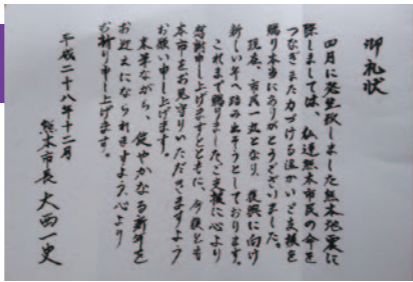


熊本地震 被災地支援 「全国青年市長会災害相互応援に関する要綱」に基づく支援

昨年の4月14日と16日、わずかに二日間二度の震度7を記録した大地震に対して稲城市では、支援物資の搬送、義援金の募金活動をするほか、発災直後の応急対策として昨年4月から8月までの間、被災建築物応急危険度判定や罹災証明の発行事務、災害支援ナースなど必要な業務に述べ45人の市職員を現地派遣しました。そして、本年1月1日から6月30日まで、宅地復旧対策のため土木技術職員1人を長期派遣しております。

熊本地震の被災状況は東日本大震災と同様に復興まで長期間を要すると思われれます。被災地の状況も踏まえ、今後とも可能な支援を継続してまいります。



東日本大震災 被災地支援 平成23年6月締結「災害時等相互応援協定」に基づく派遣

平成24年4月からの福島県相馬市への職員派遣を現在も継続しています。平成29年4月からは稲城市で5人目となる職員を派遣し、相

馬市の復興を支援しています。

福島第一原子力発電所を視察 平成28年11月2日 全国市長会の有志により視察

廃炉作業の中継基地に使用しているJ-VILLAGEにて福島県相馬市の立谷市長から放射線・放射能物質に関するレクチャーを受け、東京電力の担当者から事前注意事項を聞いて防災服に着替え、福島第一原子力発電所に向かいました。構内はバス車内からの視察でした。

現在の状況としては、構内の一部を除き、線量は事故当初からかなり低減しているようです。作業員も原子炉のすぐ近くを除いて防護服を着用せず、マスクと手袋に通常の作業着姿の人がほとんどでした。設置直後に不具合が生じた汚染水処理装置のALPSは、現在では正常に機能しており、新規の地下水流入を止める海側遮水壁の設置が完了し、凍土

方式の陸側遮水壁も一部を除き設置が完了しているとのことでした。

全体の印象としては、原子炉の冷温停止は安定しており、廃炉に向けてデブリの処理方法など未知数な面もありますが、着実に進んでいるようでした。何より、これほど原子炉に近付いて視察できるとは思っていなかったもので、たいへん良い経験になりました。廃炉まで30年を予定する国家的事業を、きちんと理解し、単純な賛成・反対の意見に流されず、見守っていくことが大切だと思いました。



衆議院議員選挙 小選挙区の区割り改定について

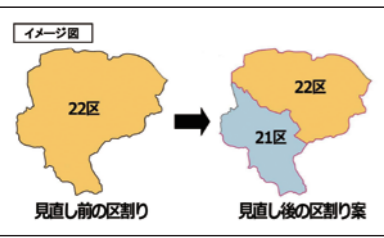
4月19日に、内閣府の「衆議院議員選挙区画定審議会」いわゆる「区割り審」から安倍内閣総理大臣に小選挙区の区割り改定案の勧告が提出されました。小選挙区については、選挙のたびに1票の較差をめぐって訴訟が提起され、最高裁は3度にわたり違憲状態であるとの判決を出しています。国では将来人口を踏まえ、次回の見直しまでの5年間、較差が2倍未満になるよう暫定的な見直しを行うとしています。

ることのないよう強く申し入れてきましたが、残念ながら聞き入れてくれませんでした。区割りの決定には市町村が関与する権限がありません。しかし、手をこまぬいては総務省原案のまま分割されてしまうおそれがあり、3月21日に多摩市長と共同で「区割りにおける市の区域の分割について再考を求める声明」をプレス発表しました。また、4月20日には、今回の区割り案の課題についてNHK首都圏ネットワークで採り上げてくれましたので、テレビでご覧いただいた方も多かったと思います。

なお、勧告の提出を受けて、4月19日に私から発表させていただいたコメントは以下のとおりです。

- 衆議院議員選挙区画定審議会において定められた「市区町村の区域を分割しないことを原則」とする区割り改定案の作成方針に則り、区割り改定案を作成するよう申し入れてきたが、それが受け入れられなかったことは、誠に遺憾である。
- 国策として進められたニュータウンの所在自治体として、地域の一体感の醸成などに努めてきた本市にとって、そのことを損ない、なおかつこのような規模の小さな市を分割する区割り案が勧告されたことは、誠に遺憾である。
- 今回の区割り改定は、平成27年の国勢調査の結果に基づく暫定的な措置とされていることから、平成32年の国勢調査の結果を受けて行われる区割り改定に際しては、市を分割することのないよう、抜本的な再見直しを求めていきたい。

今後の選挙区改定の動向につきましては、逐次、市広報などでお知らせしてまいります。

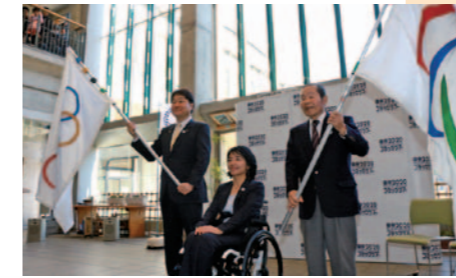


1票の較差は正は当然に必要なことであり、そのことに異を唱えるものではありません。しかし、2倍未満となるよう見直すにあたり、基礎的自治体である市を分割することは、にわかに容認できません。稲城市は従来、市域全体が東京22区(三鷹・調布・狛江・稲城)に属していましたが、今回の勧告において、坂浜・平尾・長峰・若葉台の地区が東京21区(立川・日野ほか)に移行し、それ以外の地区が東京22区に残留となっています。稲城市では、昨年末から総務省のヒアリングを受け、その都度、分割す

躍進する稲城の会

稲城市長
高橋 かつひろ
平成29年7月
市政報告

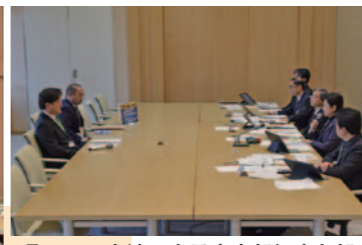
PHOTO フォトニュース NEWS 昨年末から今年の春先まで、市政にまつわる各種行事について写真でご紹介します。



12月10日 オリンピック・パラリンピックフラッグ歓迎セレモニーを実施。総合体育館にて射撃競技のパラリンピック選手、田口亜希さんを迎えて



1月19日 稲城市援農ボランティア養成講座「いなぎ農業ふれあい塾」開講式



2月13日 小池百合子東京都知事と都庁にて意見交換。稲城市の実情を説明し、支援の継続を要請した



2月25日 オーエンス健康プラザ、利用者数累計50万人達成記念



1月24日 教育再生首長会議のメンバーにより、首相官邸に安倍内閣総理大臣を表敬訪問



3月25日 稲城消防署 上平尾消防出張所 落成式



3月29日 中央公民館ホール改修完成記念式典



4月1日「稲城繁盛節」市制施行45周年リメイク披露会。原田直之先生、江島あきさんを迎えて



4月2日 多摩川清掃(矢野口・多摩川緑地公園)に東京ヴェルディ選手が参加



4月8日 テレビ朝日若葉台メディアセンター・アトリウム開所式にて代表取締役会長兼CEOの早河洋氏、代表取締役社長の角南源五氏とテープカット



4月22日 南多摩駅前まちびらき式典(稲城なしのすけの時計台・ヤッターワンのモニュメント除幕式。大河原邦男先生、井上ジェット先生、声優の山寺宏一さんを迎えて)



4月30日 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会気運醸成事業。荻原健司氏講演会とノルディックウォーキングの体験講習会を実施



4月25日 平尾地区と川崎市栗平をつなぐ「小田良・上平尾線」及び「栗木線」道路開通式典



発行: 躍進する稲城の会 (発行責任者: 原田富雄)
事務所: 稲城市矢野口 2356 電話: 042-378-3820 Fax: 042-379-8088 E-mail: yakushin@katchan-inagi.com
HP: katchan-inagi.com www.facebook.com/katsuhiko.takahashi.3 http://twitter.com/inagiKatchan



平成29年度予算の主な内容

平成29年第1回市議会定例会において可決・成立した当初予算の内容を、第4次長期総合計画「基本計画」の「施策の大綱」の6項目に沿って、概要をご報告します。

障害者災害時支援用バンダナの配布



(デザイン見本) 災害時に周囲の人の支援が必要であることを表示

市立病院器械・備品整備 放射線画像システム等



第二小学校学童クラブの民営化



公設民営型・定員40人
委託先=学校法人子ども森



- 保育所の待機児童解消対策（都有地活用の交渉）●認可保育所・家庭福祉員の受入児童数の拡充（城山保育園南山（0歳児2人増・1歳児2人増）、矢野口地区家庭福祉員の受入2人増）●保育所への防犯カメラ設置工事（公立保育園3園）●地域包括ケアシステムの構築・認知症施策の推進（①地域連携型認知症疾患医療センターの指定を受けている稲城台病院に「認知症初期集中支援チーム」の事業を委託、②パソコンで自己診断ができる「初期スクリーニングシステム」を導入）●介護支援ボランティア制度10周年記念事業（活動者表彰、活動内容の周知、11月に式典を予定）●糖尿病性腎症等重症化予防事業（国保の被保険者が対象、人工透析移行のハイリスク者へ保健師・看護師から6か月の指導）

1

だれもが
健康で安心して
ともに暮らせる
まちづくり

南多摩駅前まちびらき式典の開催



稲城なしのすけ時計台・セッターワンメモメントの除幕式、大河原邦男氏と山寺宏一氏のトークショー・4月22日開催

環境にやさしく 活力あふれるまちづくり

- オリジナル婚姻届特別受理証明書の発行●（仮称）稲城市観光協会の設立準備（設立準備会の設置、平成31年4月に業務開始を目指す）●消費者教育の充実（中学生向け・悪質商法の被害防止）●余熱利用高温水導管の健全性点検等の実施（クリーンセンター多摩川と市立病院・健康プラザを結ぶ導管の点検、現在仮設配管となっている部分の本工事にに向けた実施設計）

4

2

中学校空調設備設置工事



普通教室増加分（四中1クラス・五中1クラス）、特別教室分（六中図書館・二中～六中の理科室）

稲城ふれあいの森整備



南の泉等を改修

学校給食共同調理場 第一調理場建替移転事業



南山東部土地区画整理事業地区内へ移転予定、平成29年度は用地取得に向けた土地鑑定・実施設計、平成32年9月稼働予定

人と文化を育む ふれあいのある まちづくり

- 東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成事業（冬季五輪金メダリスト荻原健司氏講演会・4月30日開催）●市独自の学力調査の実施（中学校1年生を対象、国語・数学・生活習慣意識調査を実施）●特別支援教育あり方検討会の設置（今後のあり方や支援体制の検討）●稲城長峰ヴェルディフィールド（稲城長峰スポーツ広場）への順路案内標識の設置●第一小学校外構整備工事（校庭東側プール前にフェンス設置）●第四小学校屋上防水・外壁改修工事●第二中学校下水道接続工事設計委託（平成29年度設計委託、平成30年度工事）●第三中学校校舎大規模改修等工事（平成29年度増築工事、平成30年度増築+大規模改修工事）

小型無人航空機（ドローン）の導入



備品購入と操縦士の養成、運用には国家資格はないが実技と航空法の受講が必要

消防ポンプ自動車更新整備



消防団車両4台を同時更新

空気式救助マット整備



一辺2.4m×高さ2mの六角柱、概ね5階（15m）の高さからの飛び降りに対応

3

だれもが
心豊かに暮らせる
平和で安全なまちづくり

市庁舎駐車場等整備工事



平成30年1月に西側駐車場施工完了予定、平成30年3月に北側駐車場施工完了予定

複合施設ふれんど平尾駐車場整備事業



旧第八小プールを老朽化により廃止、約14台分の駐車スペースを確保

- 庁舎空調設備改修工事設計委託（平成29年度設計、平成30～31年度工事予定）●稲城市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会の設置（戦略期間：平成27年10月～平成32年3月の中間年に当たる検証）●市議会の情報発信の強化（委員会のインターネット配信を平成29年第2回定例会から開始）●多摩川流域自治体広域連携事業の充実（9自治体に参加する郷土芸能フェスティバルに出演）●働き方改革の推進（ワークライフバランスの適正化、時間外勤務の縮減）●上平尾地区町界町名地番整理（平成29年度「稲城市町界町名地番整理審議会」の開催・住民説明会・町名区域変更の議決、平成30年度現地調査・付番作業・住民説明会・告示等）

ふるさと納税に対する返礼品・納付方法の充実



返礼品の種類を増強、民間サイト「ふるさとチョイス」を活用しクレジット決済を導入

多摩川サイクリングロード整備工事



川崎市と稲城市を接続

iバス路線の充実



第Ⅱ期見直し路線・増便での運行を3月27日に開始

5

水と緑に
つまれた
やすらぎのある
まちづくり

- 南多摩駅西自転車駐車場・矢野口駅西自転車等駐車場の増設（自転車駐車場整備センターが増設整備、南多摩駅西＝自転車153台分、矢野口駅西＝自転車153台分+バイク10台）●多7・4・5号線（第三中学校東側～京王相模原線）整備事業（平成29年度電線共同溝工事、平成30年度道路築造工事、平成31年度開通予定）●多7・5・3号線（矢野口・鶴川街道～川崎街道）整備事業（電線共同溝予備設計・事業認可申請図書作成）●市道第171号線等測量委託（よみうりランド駅北口の整備に向けた準備）●多3・4・36号線トンネル整備工事（上平尾～小田良区画整理事業地区、平成29～31年度工事予定）●市道第15号線交差点改良工事（平尾外周通りと上平尾区画整理事業地区との接続部を単純な十字路に再整備）●多3・4・12号線（都道読売ランド線）の受託整備（道路と電線共同溝詳細設計・土地鑑定・物件調査・用地買収・物件補償、平成30年度工事着工予定）●城山公園施設整備（イベント用の電源・簡易ステージ）●中央公園野球場駐車場の改良工事詳細設計委託（平成30年度に工事予定）

6

市民とともに歩む
まちづくり

- （仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会の設立準備（設立準備会の設置）●自動通話録音機貸与事業（50台分、振り込み詐欺等撲滅対策、概ね65歳以上の世帯に無償貸与）●市立公園への防犯カメラ設置（平尾近隣公園・上谷戸親水公園）●避難施設へのWi-Fi整備（いなぎFree Wi-Fiを避難所に拡大、整備済の7施設を除く32施設に5か年で整備）●地域配備消火器の更新（地域配備378本・自主防災組織貸与465本を5か年で更新）